

平成20年度決算の状況

平成20年度の決算は9月に行われた市議会にて審査され認定を受けました。
市民の皆さんが納めた税金や、国や都からの補助金などが、皆さんの暮らしやまちづくりのためにどのように使われたのかをお知らせします。

一般会計は収入・支出とも増加

会計名	最終予算額	収入額	支出額	収支
一般会計	400億4012万円	373億1702万円	368億8160万円	4億3542万円
特別会計	113億7910万円	108億3197万円	111億7383万円	△3億4186万円
国民健康保険	6億9377万円	6億8113万円	6億8041万円	72万円
老人保健医療	54億9393万円	54億9165万円	54億5496万円	3669万円
介護保険	13億6681万円	13億7346万円	13億3407万円	3939万円
後期高齢者医療	27億5311万円	27億1522万円	27億1345万円	177万円
下水道事業	6億8056万円	5億8535万円	5億8432万円	103万円
中神土地区画整理事業	624億0740万円	589億9580万円	588億2264万円	1億7316万円
合計				

※企業会計(水道事業会計)は5ページに掲載しています。

市の会計は「一般会計」、「特別会計」、「企業会計」に分かれています。このうち、一般会計・特別会計の決算は上の表のとおりです。一般会計は、行政を運営するために必要な基本的な収支を管理している会計です。
収入は373億1702万円、19年度に比べて3億4674万円(0.9%)増加しました。これは、市税が減少したものの、地方特例交付金、国・都支出金、市債などが増えたことによるものです。
支出は368億8160万円、19年度に比べて3億5605万円(1.0%)増加しました。昭和公園整備事業費、小・中学校耐震化事業費などの普通建設事業費が増えたことによるものです。

市税収入は減少

市税収入は19億8267万円と19年度に比べて3億4656万円(1.7%)減少しました。
このうち、個人市民税は、19年度税制改正の影響により20年度も引き続き増加しましたが、一方で、法人市民税は、経済情勢の変化により企業収益が低迷し大幅に減少しました。
また、市税の収納率は、収納対策を更に強化し市税滞納繰越分は増えましたが、市税全体では94.7%と19年度に比べて0.2ポイント減少しました。

市税収入の内訳

市民税		固定資産税
個人市民税 74億1226万円	法人市民税 17億191万円	84億4740万円
都市計画税 14億8728万円	市たばこ税 7億5451万円	軽自動車税 7931万円
合計額 198億8267万円 (市民1人当たり17万6252円)		

支出額は市民1人当たり32万6941円

一般会計の支出額は、19年度に比べて3億5605万円増え、368億8160万円でした。これを市の人口11万2808人(今年3月31日現在)で割ると、市民1人当たり32万6941円の支出をしたこととなります。その内訳は左

の図のとおりです。性質別に見ると、行財政改革により職員人件費などは削減できましたが、児童手当などの扶助費や、昭和公園整備事業、小・中学校耐震化事業、都市計画道路整備事業などの普通建設事業費が増加した結果、19年度に比べて支出が増えました。

財政力指数と経常収支比率の推移

財政力指数とは、地方公共団体の財政力に余裕があるかどうかを国が定めた基準により算出した指数で、その指数が高いほど財源に余裕があるとされ、1を超えると普通交付税の不交付団体となり、昭島市は16年度以降、普通交付税は交付されていません。
また、財政構造の弾力を判断する経常収支比率では、割合が低いほど財政にゆとりがあることを示しています。昭島市はここ数年増加しており、新たな行政需要に対応しにくい状況です。
なお、昨年からは、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に

支出額を市民1人当たり換算した額は32万6941円

性質別に分けると

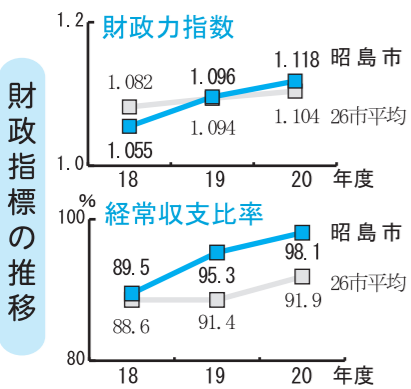
扶助費 7万9791円	人件費 6万5410円	物件費 4万5455円
生活保護費、児童手当、保育所運営費など	市長や市職員の給料、議員報酬など	賃金や委託料、公共施設の管理費など
普通建設事業費 4万2992円	繰出金 3万7788円	補助費等 2万6530円
道路の新設・改良や校舎の工事費など	国民健康保険、下水道事業など特別会計へ支出される経費	消防事務委託金や他団体への補助金など

※その他(公債費・積立金・維持管理費・投資及び出資金・貸付金) 2万8975円

目的別に分けると

民生費 12万5740円	土木費 5万2019円	教育費 4万3659円
障害者・高齢者福祉、児童福祉、生活保護など	道路管理、公園整備、市営住宅の維持管理など	小・中学校教育、社会教育、公民館活動など
総務費 3万9764円	衛生費 2万4150円	公債費 2万3315円
庁舎管理、徴税、統計、選挙事務、住民登録など	ごみ処理、保健衛生、予防接種など	市債(市が借入れたお金)の返済

※その他(消防費・議会費・労働費・農林費・商工費) 1万8294円



企業会計(水道事業会計)の決算

水道事業会計は、複式簿記による「公営企業会計」を取り入れ、収益的収支(水道料金による収入と家庭に水を送るために必要な経費と、資本的収支(古くなった水

平成20年度水道事業会計の決算

区分	収入額		支出額	
収益的	営業利益	17億3758万円	営業費用	11億7016万円
	営業外利益	8043万円	営業外費用	7477万円
資本的	一般会計負担金	677万円	建設改良費	2億9653万円
			企業債償還金	3億1454万円

※消費税を除きます。

道施設の改良や新しい施設をつくるために必要な経費)からなっています。決算は左の表のとおりです。

以上が20年度決算の状況です。20年度は19年度に引き続き事務事業の見直しなどによる行財政の健全化に努めながら、皆さんの暮らしやまちづくりのために、予算に定めた事業を執行しました。今後も、限られた財源を有効に活用し、さまざまな市民サービスに努めます。
※詳しくは、一般会計・特別会計については財政課☎544-5111、企業会計については水道部業務課☎543-6111へ。

平成20年度に行った主な事業

～第四次昭島市総合基本計画(人・まち・緑の共生都市あきしま)の着実な推進のために～

明るい地域社会の形成	循環型社会の形成
自転車等駐車場指定管理者制度の実施 1億1390万円	環境緑花フェスティバルの開催 188万円
起震車の購入 2415万円	ごみ減量啓発用環境バッグの作成 187万円
中学生海外派遣事業 553万円	環境コミュニケーションセンター整備事業 645万円
健康と福祉の充実	昭和公園整備事業 6億6710万円
中国残留邦人支援事業 3879万円	質の高い都市基盤整備
児童手当等支給事業 15億7470万円	青梅線北側地区コミュニティバス運行補助 1300万円
私立保育園運営事業 29億3774万円	市道舗装改修工事 1億8029万円
中神保育園改修工事 3079万円	拝島駅自由通路整備工事 2億9155万円
生活保護法に基づく扶助費 28億5452万円	拝島駅南口周辺都市計画道路用地取得事業 10億1403万円
生涯学習の充実	産業の活性化
多摩辺中学校特別支援学級の新設 165万円	特産品展示ケースの設置 75万円
小・中学校耐震化事業 6億3445万円	製造業課題解決サポート事業 102万円
拝島第二小学校除湿温度保持機能復旧工事 2億1419万円	計画実現のために
学力向上推進プラン事業 1510万円	第五次総合基本計画策定 299万円
郷土芸能まつり開催補助 200万円	地域情報化システム更新 2439万円